

2020年度事業計画書

特定非営利活動法人 横浜日独協会

1. 経営管理体制基盤の拡大

日本とドイツの草の根交流に取り組んできた横浜日独協会は本年設立 10 周年を迎える当協会は 2019 年 12 月に神奈川県指定 NPO 法人となったが、さらに国内の日独協会では初めての認定 NPO 法人を目指している。認定 NPO 法人に求められるのは日独交流の取り組みの発展・深化に加え、市民活動の一層の広がりである。そのために本年度よりの個人会員会費増、個人・法人会員の拡大ならびに寄附金等によるファンドレイジング（資金調達）など、当協会のこれからの基盤の充実につなげていく。

2. 事業活動方針

横浜市とドイツとの市民相互による草の根レベルの相互交流をさら進め、日独両国の文化・政治・経済の基礎をなす価値と伝統をさらに発展させることが横浜日独協会の大きな役割であるが、今年は設立 10 周年という節目をむかえ、それらを踏まえ本年度の事業に取り組む。

- ① 日独相互理解事業では、日本とドイツの文化・教育・芸術等の分野について月例会等を通じ日独の相互理解を進める。とくに本年度は当協会設立 10 周年記念事業として、ドイツからの来客・一般市民も参加する記念式典・記念講演・コンサートならびに日独交流大茶会を開催する。

本年度より戦没ドイツ兵士墓前祭に参加する。ドイツ大使館武官、地元有志、地元小学生などとともにも昨年度より根岸外人墓地での墓前祭に参加しており定例化する。

本事業においては、インターネットをより活用した幅広い市民への呼びかけ、各種イベントを通じた日独相互交流の深化に向けた取り組みをする。

- ② 日独青少年交流事業では、若者を中心にグローバルな次世代育成と女性の社会的活動に関するフォーラムを行っているが、前年度延期にしたドイツ・フランクフルト市との高校生相互派遣やならびにハンブルク市の若者との交流、SNS等を活用したネットワークの強化に取り組む。
- ③ 日独経済情報普及事業では、市内の中小企業を対象に科学技術・情報・イノベーション分野のドイツ企業の実情についてセミナー等を通じて情報提供するとともに、在日ドイツ系企業・大学など研究機関と地域中小企業との情報交換や法人間交流に取り組む。地域企業支援団体（横浜企業経営支援財団・横浜商工会議所）及びDJW（日独産業協会）などとの連携を強める。
- ④ 日独関係団体連携事業では、多様性、ネットワーキング及び持続可能性をキーワードに独日・日独協会による共同宣言（金沢宣言：2018年5月）の採択を受け、協会の枠をさらに広げたネットワークづくりや若者の参加を支援し、多くの市民との対話を継続していく。全国日独協会連合会、日本各地の日独協会、フランクフルト独日協会、ハンブルク独日協会ならびに横浜日米協会等との連携を図りつつ、幅広い国際交流を目指して活動する。

2. 事業内容

《特定非営利活動に係る事業》

事業	内 容	日 時	場 所	従事者 人 員	受 益 対 象 者	支 出 見 込 額 (円)
① 日 独 相 互 理 解 事 業	・ 市民と市内在住ドイツ人を対象に、日独の相互理解を深めるための文化・芸術等交流目的の講演会・音楽会・セミナー等を開催する。	4/5/7/9/10/11 1/2 月	横浜市戸塚区民センター他	7 人×8 回	ドイツに関心のある横浜市民及び市内在住ドイツ人等 300 人	172,000 円
	・ 市民と市内在住ドイツ人との文化交流会、設立 10 周年記念諸事業の主催、後援等を行う。 ・ 文化委員会文化活動 ・ 横浜スカートクラブ ・ オクトーバーフェスト ・ クリスマスマーケット後援 ・ クリスマスパティー ・ 会員個人、所属団体等	4/5/6/7/9/10/11 /12/1/2/3 月	横浜市内 ／県民センター／ 西区／中 区／ 都筑区	7 人×1 5 回	県市内在住市民と 県市内在住ドイツ人及び関係者等 250 人	1,785,000 円
	・ 記念式典／基調講演会 ／演奏会／大茶会	10 月			式 典 等 200 人 大 茶 会 300 人	
・ 根岸外人墓地／戦没ドイツ兵士墓前祭献花	11 月	磯子区	3 人	50 人		

② 日独青少年交流事業	・ドイツ・フランクフルト市の派遣青少年を受け入れ、横浜の青少年との相互交流を行う。	4月	横浜市内	5人	ドイツに関心のある高校生並びに若者等 50人	295,000円
	・市民と市内在住ドイツ人を対象に、日本とドイツの若者及び女性が日独両国の協力、交流や女性の社会進出について体験を交え、将来の方向性を話し合い、親睦を深める機会になる日独ユース・女性フォーラムを開催する。	6月	横浜市内	10人	市内在住の若者とドイツ人及び関係者等 100人	190,000円
	・大学祭等でのドイツ文化紹介を行う。 ・ドイツ留学生、在独学生等の交流を行う。	10月 通年	神奈川区 横浜市内	10人	市内在住の若者とドイツ人及び関係者等 50人	20,000円
	・ヤングクラブと全国のヤングクラブによるSNS等を活用したネットワークを広げていく。	通年	日本国内 ／ドイツ国内	3人	日独／独日協会ネットワーク参加者	
高校生作文コンテスト参加校を拡大し優秀者2名フランクフルト市に派遣する。(横浜市若者支援助成金活用)	年度内	横浜市内	5人	ドイツに関心ある市内高校在校生等 50人	400,000円	

<p>③ 日独経済情報普及事業</p>	<p>横浜市内等の主に中小企業を対象に、日独相互の技術交流・情報交換等に関する機会を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業支援財団、横浜商工会議所、市内地域の工業会等との連携の促進 ・ドイツ系法人会員の拡大、会報への記事掲載等による広報活動を充実させる。 	<p>10月 通年</p>	<p>横浜市内</p>	<p>10人</p>	<p>在横浜ドイツ系企業と日本企業関係者等 150人</p>	<p>168,000円</p>
<p>④ 日独関係団体連携事業</p>	<p>横浜市内等の日独関連諸団体との各種イベントの共催や諸行事への参加を通じ、日独交流を促進する。</p> <p>横浜を訪問する独日協会会員（フランクフルト市、ハンブルク市等）と市民との交流を通じ団体間の連携を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜日米協会との連携 	<p>4月 7月 4月 10月</p>	<p>横浜市内</p>	<p>15人</p>	<p>市民及び市内在住ドイツ人と諸団体並びに関係者等 100人</p>	<p>75,000円</p>